

東京シンポジウム 2016

文化遺産を考える

有形・無形の文化遺産を保護し、活用し、また、未来に継承していくための博物館の役割について、そのトップである3博物館の館長と堺市長（ミュージアムディレクター）を交えて、立体的に議論を深めていきます。

参加無料

募集：250人・要申込（先着順）
※裏面参照

2016年 **5月14日(土)** 13:30~16:30 (開場12:45)

会場：東京国立博物館 平成館大講堂 ※シンポジウムの出入りは西門からお願いします。

基調講演



中西 進

堺市博物館名誉館長・国文学者

雅楽演奏



東京楽所

雅楽はユネスコの無形文化遺産の代表一覧表に記載されています。今回は、小編成による演奏です。

パネルディスカッション

テーマ：～文化遺産と博物館の使命～



石森 秀三

北海道博物館長



須藤 健一

国立民族学博物館長



銭谷 眞美

東京国立博物館長



竹山 修身

堺市長
(堺市博物館ミュージアムディレクター)

コーディネーター：狭間 恵三子 堺市副市長

主催：堺市、国立文化財機構

後援：文化庁、国立民族学博物館、北海道博物館、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議

プログラム (予定)

◆主催者挨拶

竹山 修身 堺市長
銭谷 眞美 東京国立博物館長

◆来賓挨拶

文化庁

◆基調講演

中西 進 堺市博物館名誉館長・国文学者
演題:文化の自律性—日本の文化遺産を考える

◆パネルディスカッション

テーマ:文化遺産と博物館の使命

◎パネリスト (50音順)

石森 秀三 北海道博物館長
須藤 健一 国立民族学博物館長
銭谷 眞美 東京国立博物館長
竹山 修身 堺市長 (堺市博物館ミュージアムディレクター)

◎コーディネーター

狭間 恵三子 堺市副市長

◆雅楽演奏 (百舌鳥古墳群の映像を背景に演奏)

東京楽所

東京楽所(とうきょうがくそ)プロフィール
<代表 多 忠輝(おおのただあき)氏>
1977年宮内庁式部職楽部のメンバーを
主体に創設。芸術音楽としての雅楽演奏を
目的として結成された高い芸術性を有する
雅楽団体。

《ロビー展示》

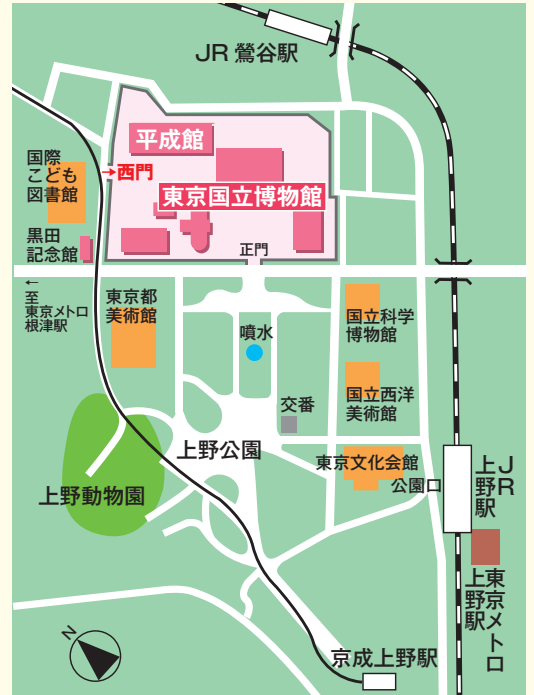
1) アジア太平洋無形文化遺産研究センター (IRCI) の紹介

※2011年に、ユネスコが賛助するIRCIが国立文化財機構の1機関として
堺市博物館内に開設され、堺市と連携した事業なども実施しています。

2) 百舌鳥・古市古墳群の紹介

東京国立博物館 平成館大講堂

(シンポジウムの出入りは西門から)
東京都台東区上野公園13-9



《交通のご案内》

- ・ JR上野駅公園口又は鶯谷駅南口下車 徒歩10分
- ・ 東京メトロ 銀座線・日比谷線上野駅、千代田線根津駅下車 徒歩15分
- ・ 京成電鉄 京成上野駅下車 徒歩15分

▶申込方法

電子メール、FAX、往復はがきのいずれかに、郵便番号、住所、申込者氏名(ふりがな)、TEL・FAX番号、
同伴者氏名(1通につき2人まで)を記入の上、堺市博物館 東京シンポジウム係までお申込みください。
お申込みいただいた全員の皆様に参加の可否をご連絡いたします。

4月2日(土) 受付開始・先着順250人

参加申込用紙

FAX.072-245-6263 堺市博物館 東京シンポジウム係 行

(ふりがな)		TEL
申込者氏名		FAX
住 所	〒	—
(ふりがな)	(ふりがな)	
同伴者氏名	同伴者氏名	

※ご記入いただいた個人情報は、本シンポジウム運営上の目的以外には使用いたしません。

《お申込み・お問合せ先》

堺市博物館 東京シンポジウム係

〒590-0802 大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁(大仙公園内)

TEL:072-245-6201 FAX:072-245-6263

E-mail:hakugaku@city.sakai.lg.jp



堺市博物館公式キャラクター
サカイタケルくん
©YABUUCHI Satoshi



世界文化遺産を大舞台に
百舌鳥
古市古墳群